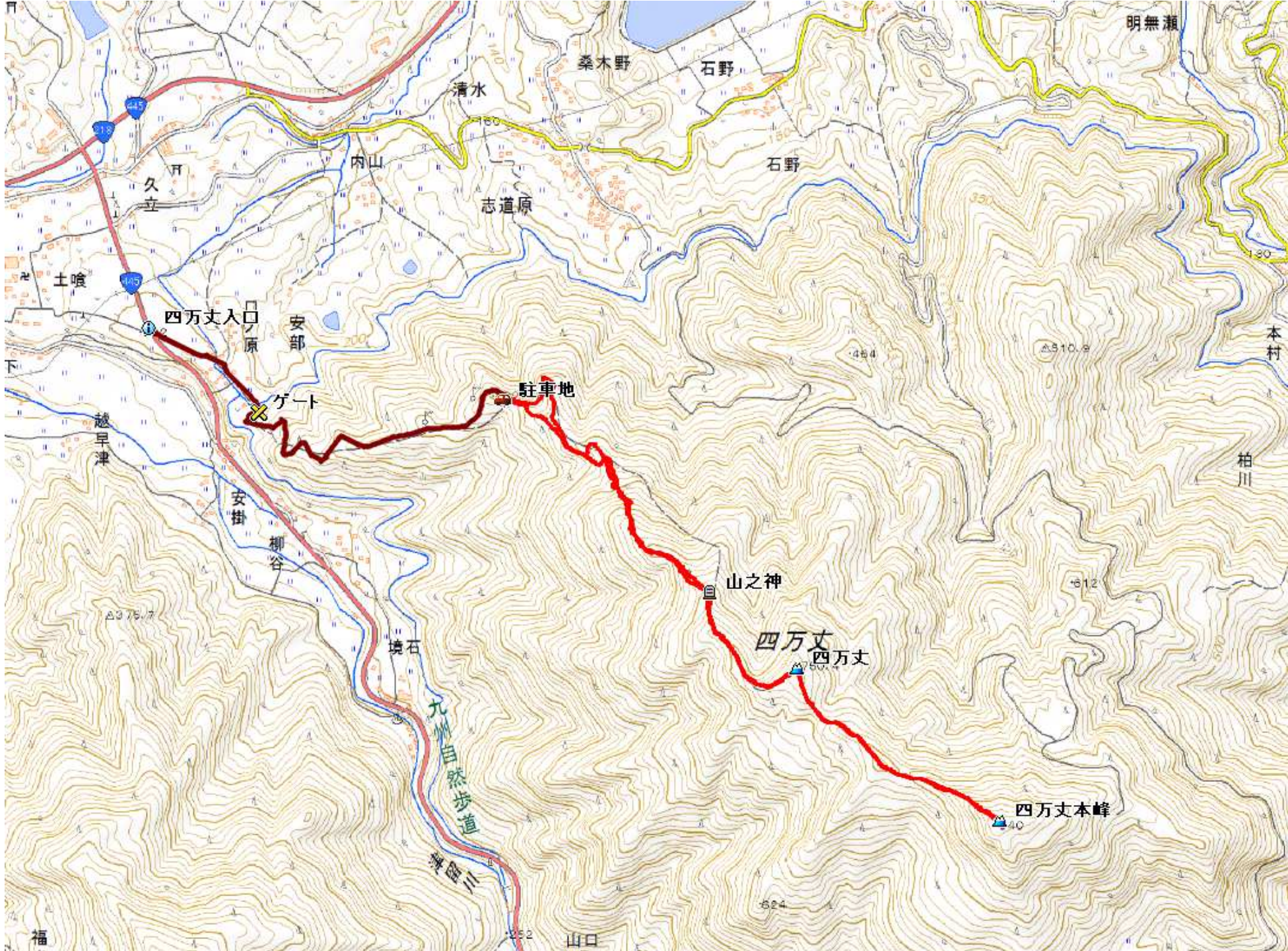


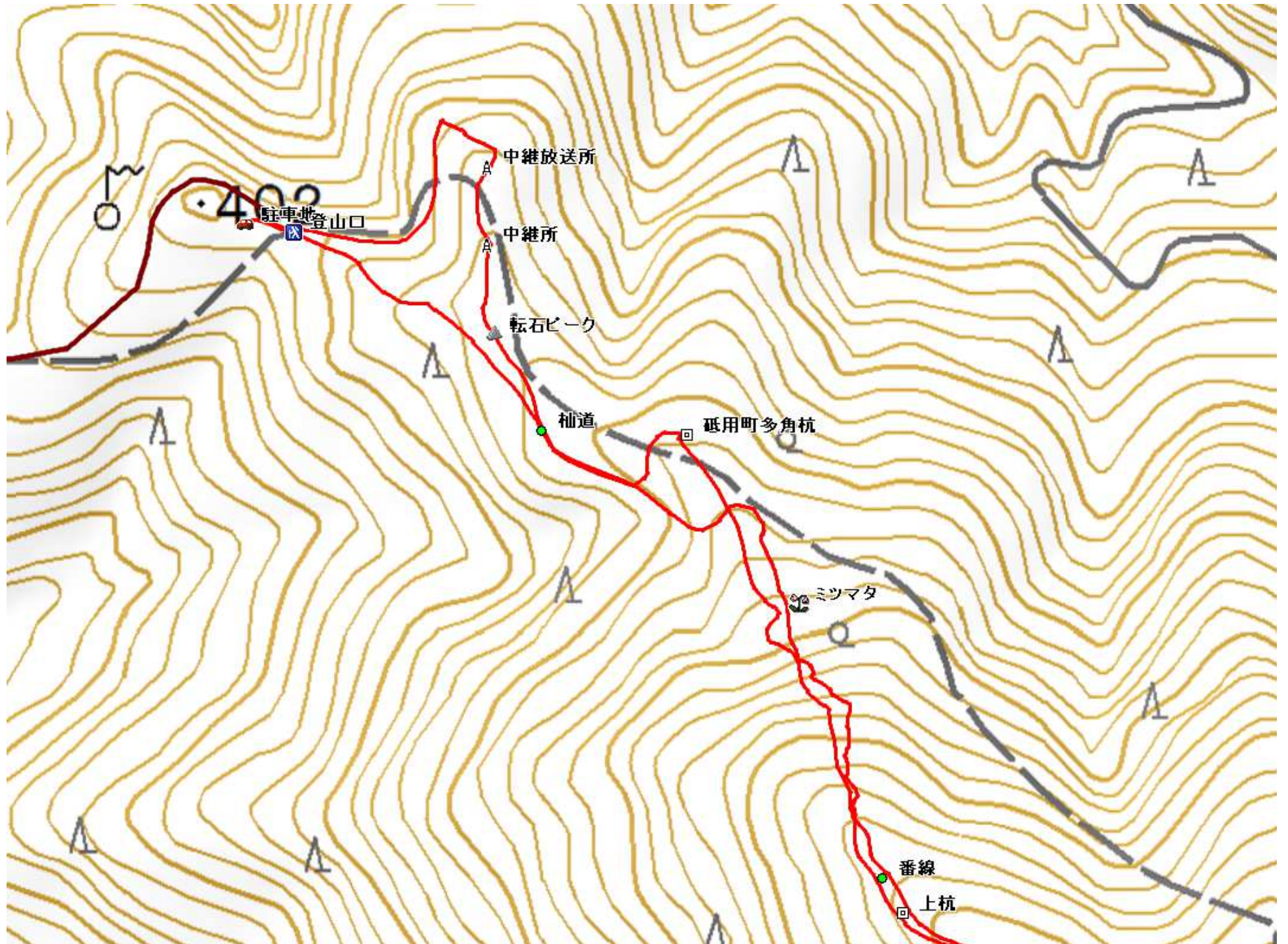
240411 しまんじょう 四万丈 (750m)

4.7 km 3時間37分 (休憩・撮影時間は含まない) ※この地図はカシミール3Dにより作成したものです



- 駐車地
- ↓ 0:58
- 山之神
- ↓ 0:22
- 四万丈(750m)
- ↓ 0:42
- 四万丈本峰(840m)
- ↓ 0:30
- 四万丈(750m)
- ↓ 0:16
- 山之神
- ↓ 0:49
- 駐車地

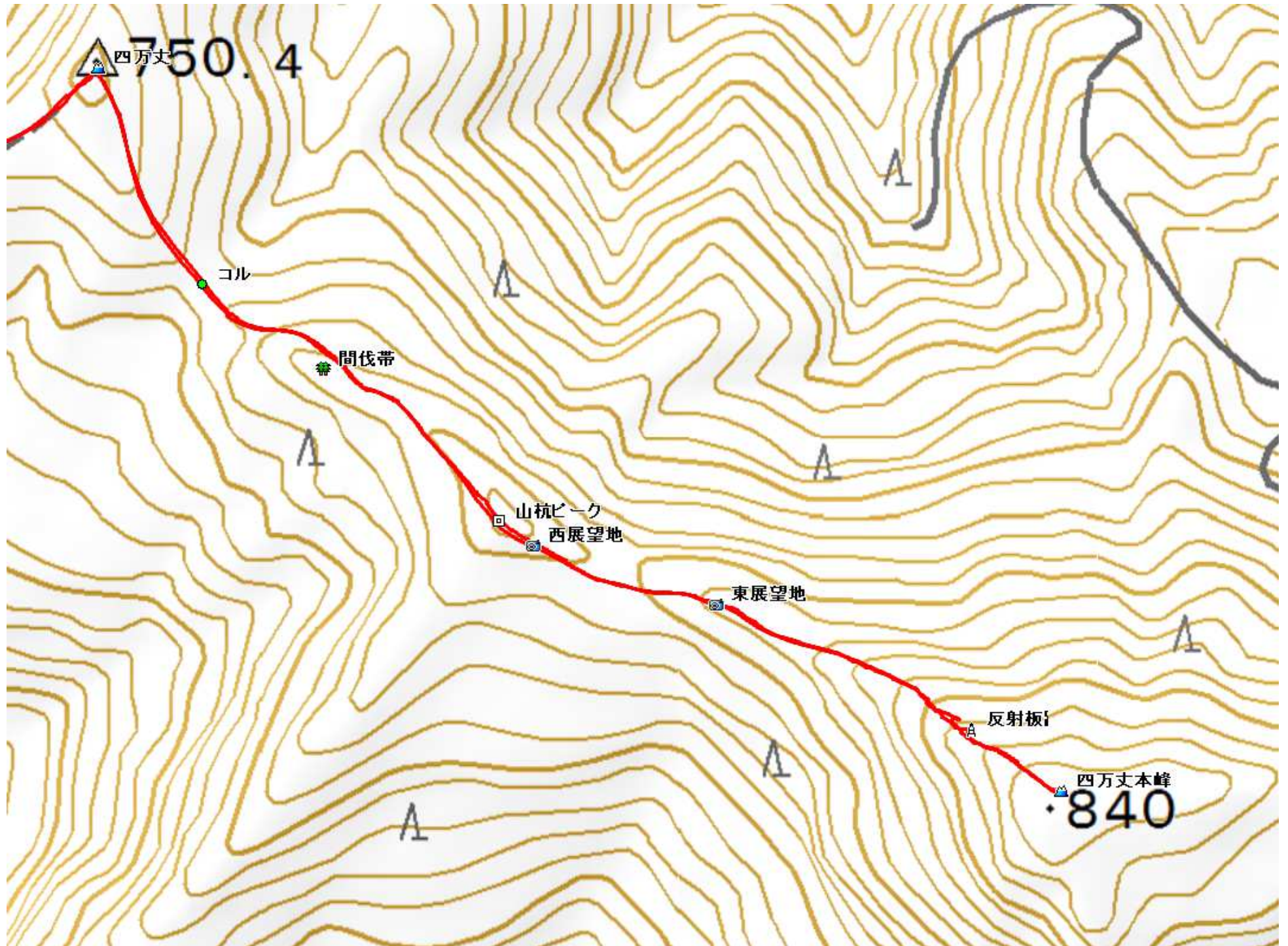
240411 四万丈 (750m) 詳細 上



240411 四万丈 (750m) 詳細 中



240411 四万丈 (750m) 詳細 下



四万丈(750m)～四万丈本峰(840m)
2024.04.11(木)晴れ

駐車地→山之神→四万丈(750m)→四万丈本峰(840m)→四万丈(750m)→山之神→駐車地



国道445号から口ノ原集落に入り民家を抜けた先でゲートに出会う。開け閉めして道なりに上って行く。



1.5km程で私設観音堂に達し、広場に駐車する。



駐車地から東へ向かう。



右にソフトバンクの砥用局中継塔を見上げて進むと、道路終点の登山口に出会う。



左側にテレビ塔入口の立入禁止板が立っている。



右側の中継放送所の標柱へ取付く。



凹地の右側を上って行く。



中継所ポール横の凹地上って行く。



杉道に出会う。此処は尾根斜面への分岐でもある。



赤テープを見て北東へ斜上する。



やや急なスギ植林斜面を南南東へ上って行く。



東斜面に若葉が芽生えたミツマタを見る。



右側に黄テープを見る。



南へ急斜面を上って行く。



傾斜が緩んだ斜面を南東へ上って行く。



枝に掛けられた錆びた番線を見る。



㊤と刻された上杭を見る。



平坦に近い鈍頂尾根筋を東南東へ進む。



南東へ緩く上って行くと倒木に出会う。



山之神の石祠に出会う。



尾根斜面に砥用町の地籍図根多角点の杭を見る。



間伐斜面を南へ上って行く。



2本赤テープを見て進行方向を南東へ変える。



南南東へ上って行く。



尾根筋倒木の右を抜ける。



北東へ緩やかに上って行く。



前方に三角点が見えた。



四万丈(750m)に到着。



山名板。



明治30年選定の三等三角点：山ノ神やまのかみ (750.36m)が設置されている。



周囲を植林で囲まれ展望は得られない。



一息ついて、南東へ向かう。



スギの幹にマーキングを見る。



尾根筋には境界杭が打たれている。



前方に弱いコルが見えた。



コルの境界杭。



コルの上空。



南東へ上って行く。



間伐帯の際を抜けて行く。



赤プラ杭も打ってある。



南東へ緩く上って行く。



山杭ピークを越える。



前方が開けて来た。



伐採斜面が現れ東に洞ヶ岳を望む。



西展望地からの眺望。



伐採斜面際を東へ向かう。



東展望地から北西に山杭ピークと四万丈を望む。



東展望地からの眺望。



アセビを分けて東南東へ上って行く。



赤テープを辿って上って行く。



反射板跡に立ち寄る。



周囲を雑木で囲まれ展望は得られない。



赤テープを辿って上って行く。



山頂が見えた。



四万丈本峰(840m)に到着。



山名板。



4つの石に囲まれた図根三角点が設置されている。



周囲を植林で囲まれ展望は得られない。



一息ついて、帰路につく。



東展望地を通過する。



伐採斜面のアセビ際を戻る。



西展望地を通過する。



山杭ピークを通過する。



コルを通過する。



再度、四方丈(750m)に立ち寄る。



2本赤テープを通過する。



間伐斜面を北へ下る。



山之神を通過する。



倒木を通過する。



上杭を通過する。



番線を通過する。



急なミツマタ斜面を下って行く。



苔むす岩にケルンを見る。



尾根筋を北西へ下って行く。



砥用町多角杭に出会う



転換テープを見て西へ向かう。



南の尾根筋に向かう。



往路の尾根筋に合流し、北西へ向かう。



杣道分岐から右の踏み跡へ向かう。



弱い踏み跡を北北西へ向かう。



転石のピーク地形に出会う。



中継放送所標柱の標柱を見る。



前方が開けて来た。



緑川ダムの中継所が建っている。



フェンス際を抜け下る。



中継放送所を見上げる。



西方向へ回り込む。



植林斜面を南へトラバーする。



出口が見えた。



登山口に出る。



駐車地に帰り着いた。



アセビ ピンク系



アセビ



ヒメヤママスミレ



ガマズミ



イズセンリョウ



マムシグサ